

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 270 号



2025. FEB  
令和 7 年 2 月 1 日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



みんなでペタン 早くおいしいお餅食べたいな (筆甫地区)

(表紙のことは …… 22ページ)

## 12月議会

次の10年 方針固まる	2	ページ
<b>一般質問</b> 10人の議員が町政を問う	4	ページ
議会の要望に町長が回答しました	16	ページ
議会懇談会での民意はどうなったのか	18	ページ



# 次の10年方針固まる

## 12月議会のあらまし

会期は、12月11日から13日まで。  
町長提案の議案等をすべて原案どおり可決

### 主な議決内容

- ◆第六次丸森町総合計画基本構想
- ◆規約の一部変更 1件  
(仙南地域広域行政事務組合規約の変更)
- ◆指定管理者の指定 15件  
(各まちづくりセンターほか)
- ◆工事請負変更契約締結 1件
- ◆一般会計ほか3会計の補正予算
- ◆専決処分の報告 1件  
(工事請負契約金額の変更)

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



## 総合計画基本構想

### 目指す将来像実現のための基本となる目標と施策方針を示す

町では、令和7年度から16年度を目標年度とした第六次総合計画を策定中です。総合計画は、町の目指すべき将来像や方向性を町民やあらゆる関係者と共有し、実現に向けて実践していくための指針であり、町の最上位計画です。  
この計画のうち、まちづくりの方針を示す基本構想について、原案を可決しました。

詳細はホームページに掲載しています。



## 理念（目指すべき将来像）

### DESIGN NEW MARUMORI つくろう、あたらしい日常を。

誰かに与えられるまで待つのではなく、みんなで考えて、つくる。自分で行動することで夢の実現を目指す。そんな人たちを全力で応援します。

「つくろう」は、町民が将来に希望を持ち、暮らし続けるために必要な一人ひとりの「自分たちが丸森をつくっていこう」という、強い思いを表現しています。

「あたらしい」は、これまでの丸森を大切にしながらも、新たな取り組みや工夫を含めてこれからの丸森が「こうすればもっと良くなる」、「少しずつ前に進める」という、前向きな行動を表現しています。

## 指針（将来像の実現に向けた考え方）

- 指針1. 安心して日々を過ごせるあたらしい環境を、つくろう  
住みたいが離れざるをえない状況をなくすための方法をあらゆる方向から共に考える。
- 指針2. 故郷への誇りを育てるあたらしい習慣を、つくろう  
故郷を想ってもらうための習慣をつくるという観点からの取り組みを共に考える。
- 指針3. 夢や憧れへ挑戦できるあたらしい機会を、つくろう  
どこにいても挑戦できるという可能性を信じる人を増やす機会を共に考える。

## 主な補正予算

### 町道修繕に 1310万円

町道修繕のため、重機借上料800万円、道路修繕工事に300万円を承認しました。

また、道路管理のための舗装合材等の購入に210万円を承認しました。

## 観光交流施設等の修繕に441万円

不動尊公園キャンプ場コテージウッドデッキ等修繕のために300万円を承認しました。

また、百々石公園トイレ等修繕のために141万円を承認しました。

### 林道橋修繕工事等に 280万円

林道相ノ山線の林道橋と路肩修繕等のため、重機借上料に80万円、工事費に200万円を承認しました。

### こども家庭センター用備品購入に67万円

こども家庭センターが、令和7年4月から保健センターに移転することから、事務室用備品購入のための予算を承認しました。

乳幼児等の健診のほかに、保護者が気軽に立ち寄り相談できる場所になります。



こども家庭センターが移転親子で気軽に立ち寄れる場所に



キッズコーナーなど工夫された金山図書館



しめ縄づくり講習会（高齢者生産活動センター）

## 指定管理者の指定

### 全施設の指定管理者を継続

※指定管理者制度とは施設の管理運営を民間事業者に包括的に委任する制度。指定管理者は協定等の範囲内で、独自の工夫をして管理運営を行うことができる。

### 指定期間2年間の施設

(令和7年4月1日から令和9年3月31日まで)

丸森町観光交流センター

丸森町観光物産館

一般財団法人丸森町観光物産振興公社

### 指定期間3年間の施設

(令和7年4月1日から令和10年3月31日まで)

まちづくりセンター

(8地区)

各地区自治組織

丸森町立金山図書館

金山自治会

丸森町高齢者

生産活動センター

公益社団法人丸森町シルバー人材センター

### 指定期間5年間の施設

(令和7年4月1日から令和12年3月31日まで)

黒佐野堆肥センター

黒佐野地区有機利用組合

不動尊クラインガルテン

丸森町不動尊市民農園管理組合

筆甫クラインガルテン

筆甫クラインガルテン管理組合

丸森町筆甫そば打ち体験館

一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会



わたなべ まさみ 渡辺 政巳 議員



QRコード 一般質問動画

# 六次産業への取り組みは

## 町長 構想の実現を目指す

基幹産業といわれ続けてきた丸森町の農業は、少子高齢化の波にのみこまれようとしている。丸森農業の未来を拓くべく、現状を打破するための施策が必要であり町長に問う。

**問①** 週休二日制が定着し、週休三日制を取り入れる企業も出てきた。自然の中で新鮮な野菜を食べて暮らしたい人のために週一農業の構築を図り、移住者等に働きかけて推進してはどうか。

**答①** クラインガルテンを効果的に活用して、今後も、本町への移住定住や関係人口の創出につなげるとも

に、本町や本町の農業を応援してもらえようような取り組みを推進する。

**問②** 丸森町で生産した農産物はおいしいといわれるように、丸森ブランドを構築する方針で平成12年度に認証制度がスタートとした。認証制度の取り組みを広げ丸森ブランドを構築し推進すべきと思うがどうか。

**答②** 農業振興ビジョン策定に関する町民向けアンケートでは8割以上が認証制度を知らなかったと回答している。本制度について、事業効果や必要性を検証し、本町が安全で安心な農産物の生産地として、消費者に認知されるような新たな取り組みを検討していく。

**問③** 野菜、畜産物を加工し付加価値をつけて販売することに、農業所得の向上と加工所での雇用創出が期待できる。六次産業の取り組みを展開すべきと思うがどうか。



米からつくった麺製品

**答③** 六次産業化の取り組みは、農家個々が行うスモールビジネスとしての展開が大半である。農業振興ビジョン特産品開発プロジェクトのとおり、本町産の生乳を原料とした、オリジナル商品の開発と販売に向けた構想を取りまとめたところである。起業者と町の連携体制の構築により、実現を目指す。

次の議会は

3月4日(火) 午前10時

開会予定

●日程が変更になる場合があります。

問い合わせ先 議会事務局  
☎0224-72-3038



スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで

ライブ中継しています

●一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。



# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずねるものです。今回は10人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項と回答
5	渡辺 政巳	●六次産業への取り組みは 町長 構想の実現を目指す
6	鈴木 美智子	●どう活かす阿武隈急行線 町長 更なる利用促進を図る
7	山本 明德	●原発再稼働への見解は 町長 立地自治体の判断による
8	中津川 かおり	●指定管理施設の活性化を 町長 管理者間の連携を図る
9	大槻 正儀	●空き校舎活用どう進める 町長 地区と連携し進める
10	金森 裕之	●障がい児支援の強化を 町長 通所施設開設を支援する
11	板橋 勇	●請負者不足に対応を 町長 粘り強く耕作者確保に努力
12	船山 俊一	●持続可能な病院経営を 町長 経営の健全化を推進する
13	大槻 孝雄	●第六次町総合計画で町発展は 町長 人口減少対策に取り組む
14	八巻 真由	●人口減少社会への対応は 町長 デザイン思考で最適解導く





やまもと あきのり 山本 明德 議員



QRコード 一般質問動画

# 原発再稼働への見解は

## 町長 立地自治体の判断による

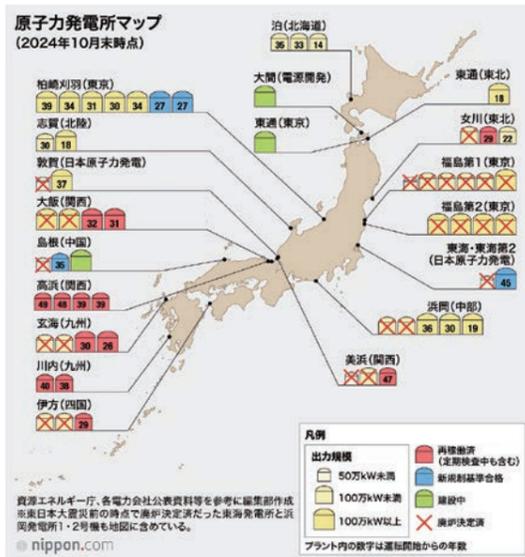
東日本大震災で被災し停止していた女川原発が、再稼働後すぐにトラブルを起こし一旦停止した。原発は、一度事故を起こせばその被害は過酷なものとなる。原発は廃炉にすべきとの考えから、今回のトラブルと原発再稼働及び新規建設に対する町長の見解を問う。

**問①** 今回のトラブルは安全管理に関わる原子炉中核部で発生したものである。今後も繰り返し重大事故につながる心配がある。再稼働を断念し廃炉とするよう知事に要請する考えはないか。  
**答①** 安全を最優先に作業を

正確に進めるべきだ。再稼働は、国の規制委員会が審査のうえ許可を出したことに基づいているので、廃炉について知事に要請する考えはない。

**問②** 東北電力は、使用済み核燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画であるが、広く住民説明会を開催するよう知事に求めているかどうか。  
**答②** 地元自治体と宮城県は地域住民への丁寧な説明を求めたのに対して、東北電力は県内全域への新聞折込や周辺地域への説明を行っていることから、説明会開催の要請をする考えはない。

**問③** 使用済み核燃料の処理方法が破綻し、核のゴミは10万年規模で貯まる。また、再生可能エネルギー推進を抑制するものもある。原発被害対策に取り組んできた町長として、原発廃炉、新規建設反対の立場に立つてほしいがどうか。  
**答③** 原発にはリスクがある



廃炉原発の管理も大きな課題 日本の原発マップ (nippon.com作成)

一方、脱炭素や地球温暖化対策などの課題に対応するため、慎重かつ総合的に考える必要がある。女川原発の再稼働は、立

地自治体の議会が再稼働を容認しており、その判断を尊重しなければならないと考える。新規建設については、積極的に推進する考えはない。

# どう活かす阿武隈急行線

## 町長 更なる利用促進を図る

阿武隈急行線の存続が決定されたのを出発点と捉え、本町の発展につながる取り組みを町長に問う。

**問①** 阿武隈急行線在り方検討会で、どんな協議がされてきたのか。  
**答①** 人口減少による利用者の減少や度重なる自然災害とコロナ禍、施設修繕費増加などによる赤字拡大を抑制するための経営改善策などの議論を重ねてきた。県と沿線自治体が鉄路維持で同意したことは、まちづくりを進めるうえで大きな決断であり、覚悟を持って阿武隈急行株式会社への

支援を継続する。 **問②** 沿線自治体の同意に時間を要したのはなぜか。  
**答②** 鉄道以外の輸送方法について、バス転換など、さまざまなパターンを検討し



阿武隈急行線丸森駅舎内に飾られた阿武急応援黄色いハンカチ

たためである。更なる利用促進策について、町阿武隈急行線利用促進協議会や、あぶきゆう応援などの各種団体と連携して協議を進める。

**問③** 本町の利用促進策や、阿武隈急行株式会社との企画、町産業伝承館のインターネット環境が整備されていることをより多くの方が認識し、利用促進につながる情報発信が必要ではないか。  
**答③** 広報まるもりや、町公式フェイスブックで迅速な情報発信と、各種団体や各関係機関と連携し情報発信の更なる強化に取り組む。

**問④** るんるん号の運行を、丸森駅から令和8年完成予定の水防センターを経由して、町内の賑わいにつなげる取り組みが必要と思うが、どう考えているのか。  
**答④** 土日祝日に運行のるんるん号のルートは、施設の完成に合わせて変更の検討を進めている。るんるん号に限らず二次交通の整備は町の賑わい創出に欠かせない。町内外の方々が利用しやすく便利な地域公共交通を目指す。



すずき みちこ 鈴木美智子 議員



QRコード 一般質問動画



おおつき まさよし 議員  
大槻 正儀 議員



QRコード  
一般質問動画

## 空き校舎活用どう進める

### 町長 地区と連携し進める

令和4年4月、小学校8校が2校に再編統合され、現在6校が各地区の中心部で空き校舎となっている。住民は校舎活用を緊急の課題として捉え、活用を検討しているが進まない。推進について、町の考えを問う。

**問①校舎活用に必要な人材の確保、校舎改修費などの負担や財源確保等の基本的な前提条件等を、町は提示していない。**

町は事業推進の基本方針を明らかにすべきでないか。

**答①**空き校舎は地区の振興に貴重な施設である。

空き校舎は遊休施設の有効活用として、第六次町総合計画に位置付ける。事業の財源は補助金等を基本とするが、施設の早期活用の観点から、小規模事業は町の自主財源で実現可能な範囲で進めることも重要と考える。

旧耕野小学校は、住民の要望を受け止め、令和7年から補助金等を財源として改修工事を進める。

空き校舎の利活用が地区の活性化につながるよう、連携をとりながら取り組んでいく。

芸術文化の普及をテーマとして検討しているが、町は先行して活用と保存方針を提示すべきではないか。

**答③教育長**現在、旧耕野小学校の教室に保管してあるが、借用希望があれば速やかに貸し出しするよう管理する。

空き校舎での常設展示等の希望があれば、保管場所の変更も含め、関係団体と前向きに検討する。



丸森サッカースクールと岩沼チームとの練習試合（旧大張小学校）

**問③**大張地区では、町所有の宮城輝夫画伯の絵画を活用して、交流人口の増加や、

## 指定管理施設の活性化を

### 町長 管理者間の連携を図る

河川防災ステーションの水防センター建設や、八雄館の建て替えも計画されているが、既存施設の活性化も必要であり、新旧両者の観光交流拠点を並行して整備すべきと考える。

そのため、指定管理施設は指定管理者に一任するのではなく、事業計画に沿った施設運営ができていくのか、時代のニーズに合ったサービス提供であるか等も含めて町として、もっと踏み込んだ管理をすべきと考へ町長に今後の方針を問う。

**問①**不動尊公園キャンプ場とあぶくま荘は、近い距離



さまざまなイベント開催で入込客数を増やしている指定管理施設（不動尊公園キャンプ場）

に位置する。来町した観光客が両施設を利用したいと思えるサービス提供や、利用客の満足度を上げるための方針を町として提示し、指定管理者間の連携を強化すべきではないか。

**答①**あぶくま荘の日帰り入浴者の増加に向け、キャンプ場利用者への入浴割引券の配付や早朝のお風呂利用、あぶくま荘での朝食提供の仕組みづくりなど、指定管理者間の連携を図る。

**問②**天水舎は、休憩所としての開放にとどまっている。指定管理者に企画、運営を一任するのではなく、利用方法や企画などを公募し、行政、指定管理者も含めて検討することはできないか。

**答②**採算性の面から、これまで見送っていた飲食店業務について、町内事業者との連携も視野に入れながら、指定管理者と検討している。利用者以外の町民や事業者の方々からの意見についても担当課や指定管理者が随時受け付けており、引き続き多様な意見の収集に取り組む。



なかつがわ 中津川かおり 議員



QRコード  
一般質問動画

キャンプ場とあぶくま荘の連携を強化することで、前年比100%に満たないあぶくま荘の日帰り入浴客数の課題を解決できるのではないか。

**答①**あぶくま荘の日帰り入浴者の増加に向け、キャンプ場利用者への入浴割引券の配付や早朝のお風呂利用、あぶくま荘での朝食提供の仕組みづくりなど、指定管理者間の連携を図る。

指定管理者に企画、運営を一任するのではなく、利用方法や企画などを公募し、行政、指定管理者も含めて検討することはできないか。

**答②**採算性の面から、これまで見送っていた飲食店業務について、町内事業者との連携も視野に入れながら、指定管理者と検討している。利用者以外の町民や事業者の方々からの意見についても担当課や指定管理者が随時受け付けており、引き続き多様な意見の収集に取り組む。



いたばし 勇 議員  
板橋



QRコード  
一般質問動画

## 請負者不足に対応を

### 町長 粘り強く耕作者確保に努力

請負耕作者が後継者なしと高齢化等により、来年度から請負農地を所有者に返すとのこと。農地所有者は困惑し、来年度から請け負う大規模農家探しに奔走するも、行き先不透明で困っているのが現状である。町では令和7年度からの第二次丸森町農業振興ビジョンの策定作業を進めている。金山地区の稲作面積は124haを4つの大規模請負農家で耕作しているが、現在、新規就農者の確保や集落営農組織すら新たな課題が出てきた。後継者がいない等、継続の危機に直面している。

**問①**金山地区で従来、田んぼの請負耕作者である大規模稲作農家が、来年から耕作解約を通告した。その面積は20ha位と想像している。来年の作付けに関する事なので根本的な解決策に時間がない。来年の作付けに、町が耕作者を仲介すること提案する。対応を問う。  
**答①**令和5年4月に農業経営基盤強化促進法が改正され、各市町村に対し本年度末を期限として地域計画の策定が義務付けられた。誰がどの農地を耕作していくかを一筆ごとに定めた目標地図を作成するものである。現在、耕作者ごとに色分けした地図を広げ、農地の管理状況や耕作者の年齢等を参加者で共有している。そのうえで、10年後を見据え、将来にわたって維持すべき農地の線引きや、誰に農地を集約していくべきかを検討している。話し合いの中では、地域特有の課題や、来年耕作者が決まってい



次の耕作者が待たれる田んぼ

## 障がい児支援の強化を

### 町長 通所施設開設を支援する



かなもり ひろゆき 議員  
金森 裕之



QRコード  
一般質問動画

町は、さまざまな子育て支援事業を展開している。その中でも特に、障がい児や家族への支援を町として更に強化を進めるべきと考え町長と教育長に問う。  
**問①**全国的に放課後等デイサービスの施設、事業所数が急増し、利用者も増加傾向である。本町では、このような施設がないために他自治体へ保護者が送迎し支援を受けている状況である。また、保護者から旧金山保育所を活用し、放課後等デイサービス事業を立ち上げたいとの要望もあることから町として開設への支



障がい児放課後等デイサービスとして利活用が期待される旧金山保育所

援を進めてはどうか。  
**答①**町内に障がい児の通所支援施設が開設されれば、利用者の選択の幅が広がる。町として旧金山保育所の賃貸を行うとともに、丸森病院と協力しながら実現に向けて可能な支援をする。  
**問②**障がいを持った子ども

の保護者にとって、日常生活の不安や、心配事が絶えない毎日であると思う。療育等を気軽に相談ができる

専門スタッフの配置や、さまざまな障がいへの福祉サービスの向上が必要と思うが、どのような支援を行っているのか。  
**答②**保健福祉課とこども家庭センターの保健師が相談窓口として支援を行っており、利用者のニーズに合わせより良いサービスの充実に向け取り組んでいる。令和7年度からは、新たに5歳児健診を実施する。  
**問③**障がいの有無にかかわらず、全ての子どもが共に学ぶインクルーシブ教育システムがある。町内の小学校での取り組みとして進めてはどうか。  
**答③**教育長本町では、交流事業や、各種活動に取り入れている。今後必要な取り組みと捉え学校、地域そして社会全体が協力して取り組む環境づくりを進めていく。



おおつき たかお 大槻 孝雄 議員



QRコード  
一般質問動画

## 第六次町総合計画で町発展は

### 町長 人口減少対策に取り組む

第六次町総合計画基本構想の中で、令和17年の推定人口は8000人とされた。町民、中高生のアンケートを基に少しでも人口減少を食い止め、活力あるまちづくりについて町長に問う。

**問①**民間の力も借りて丸森駅周辺好立地に、宅地造成や住宅を建設するとともに、他市町に勝る助成を行い、若者の移住定住につなげてはどうか。

**答①**若者定住促進住宅を丸森駅前と町内中心部に6棟、26戸を建設した。常に90%以上の高い入居率で住宅退去後も町内に75%居住して

いる。今後、子育て世代のニーズを確認しながら新たな建設の必要性を民間と話し合い検討していく。

**問②**中山間地で暮らしにくい方に生活拠点を中心部に移動してもらう。また、移住者を呼び込むためにも、空き家を町が整備賃貸し、入居を促してはどうか。

**答②**中山間地で住まいの方も住み替え用住宅として町営住宅に入居できないか検討していく。また、令和7年度から町が空き家を借りて改修、移住希望者に賃貸する事業を行う。

**問③**移住定住者を増やすには、しあわせ丸森暮らし応援事業の支援が欠かせない。要件の緩和で利用者増を図ってはどうか。

**答③**仙南地域では同様の事業と比べ補助額が最高である。近隣自治体と競争するのではなく、地域の魅力を発信し若い世代の定住支援に努める。



高い入居率の若者定住促進住宅(丸森駅前)

## 持続可能な病院経営を

### 町長 経営の健全化を推進する

丸森病院経営強化プランを推進することにより、収益確保や経費削減等の、経営効率化に向けた取り組みを推し進め、病院経営の強化を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保することは、極めて重要である。この観点から町長に問う。

**問①**医療経営コンサルタント等の活用により、丸森病院の課題と問題点を洗い出し、経営改善や患者の満足度向上を目指し、新たな取り組みを積極的に進めるべきではないか。

**答①**指摘のとおりである。将来的に人口減少等によ



将来に向け地域医療を担う丸森病院

り、患者数の減に歯止めがかからない場合、大きな改革を視野に入れ、収益性の向上と経営改善を進めていく必要がある。まずは現段階において、重要な課題となっている

常勤医師等の確保に向け、しっかりと対応していく。**問②**丸森病院の診療科の設置に関し、町民から要望の多い、小児科や眼科、皮膚科については、非常勤医師

を確保することなどにより、診療を行えないものか。また、患者目線に立った取り組みとして、土曜日の午前診療も検討すべきではないか。**答②**提言はもったもである。地域医療の現状に合った形の中で、東北大学病院等に対し、その対応について懇願していきたい。

**問③**丸森病院が、持続可能な病院経営を実現していくために、さらには地域になくてはならない自治体病院を目指し、今後どのような取り組みに重点を置くのか。**答③**持続可能な地域医療体制の確保に向けて、病院経営に携わるすべてのスタッフが一丸となって取り組むとともに、収益の確保と費用の縮減を図りながら、経営の健全化を推進し、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくりの拠点病院となるよう努めていく。

ふなやま しゅんいち 船山 俊一 議員



QRコード  
一般質問動画

# 政務活動報告

政務活動費は、調査研修等のため、議員一人当たり年額6万円を上限に交付されます。上限を超えた場合は、自己負担となっています。



空き別荘でアルベルゴディフーズを展開するガイアリゾート

支出状況 単位：円

議員名	調査研修費	政務活動費	議員名	調査研修費	政務活動費
八巻 眞由	8,634	8,634	大槻 正儀	16,336	16,336
中津川かおり	16,336	16,336	渡辺 政巳	16,336	16,336
山本 明德	16,336	16,336	石井 央	16,340	16,340
鈴木美智子	16,345	16,345	板橋 勇	16,336	16,336

一日目 山形県高畠町  
旧小学校は、熱中小学校として、さまざまな学びの場であり、2階は貸事務所が企業が数社利用していた。旧中学校の体育館は、町産材でつくられた子どもの屋内遊戯場もつくるで、校庭を宅地分譲していた。

国交付金でリフォームした別荘を、オーナーが使用しない期間貸出し、清掃などの雇用や観光につなげていた。  
議会では議会改革でハラメント条例制定。議員なり手不足策で社会人を対象に模擬議会を開催。本町でも取り組むべきと感じた。

10月8日から9日 報告者 鈴木美智子議員  
山形県高畠町 蔵王町

## 人口減少社会への対応は

### 町長 デザイン思考で最適解導く



やまき まゆ 議員  
八巻 眞由



QRコード  
一般質問動画

現在策定中の第六次町総合計画が、希望ある未来への道筋となるようお願い、町長と教育長に問う。

**問①**総合計画案では今後10年を人口減少対策集中期間と定める方針だが、人口減少は社会動向として避けられず、今後必要なのは対策ではなく対応であると考え、人口を増やす策よりも、人口減少社会による暮らしの変化にどう対応するかを町民に示すべきではないか。  
**答①**未知の問題に最適な解答を導くためにデザイン思考を取り入れる。人口減に伴い行政サービスの維持も



人口減による課題への対応として処方薬をドローンで配送する実験 (奈良県奈良市)

課題となるため、DX推進計画や立地適正化計画の策定を検討し、具体的な取り組みへつなげたい。  
**問②**住民の主體的かつ持続的なチャレンジを生み出す

ための環境整備として、まちづくり活動支援事業補助金制度を見直してはどうか。また、寄附を基金化し、住民の地域活動に助成をするコミュニティファンドの設立が有効ではないか。

**答②**現補助事業は活用しやすいよう配慮しているほか、最大3年間活動を支援する地域貢献組織育成事業等で地域活動のきっかけづくりや支援に取り組んでいる。基金設立の検討は行っていないが、今後もチャレンジする方を応援したい。

**問③**社会の変化に伴って、オルタナティブスクール等の新しい学校も増えており、今後は教育のために家族で移住をする教育移住がトレンドになると予測している。小学校が統合したばかりだが、出生数を考慮すると次の学校形態を検討する段階にあると考える。魅力化と学校変革をどう描くのか。  
**答③**教育長教育課程は常に見直しと改善を行い、特色ある地域教育にも取り組んでいる。出生数の動向を注視し、学校形態を検討する必要がある場合は総合教育会議に諮る。

10月22日から23日 報告者 渡辺政巳議員  
東京都日本青年館ホテル 清溪セミナー

清溪セミナーに毎年参加している。  
今回は環境問題をテーマに6講義行われた中で、印象に残ったのは、微生物の力で可燃ごみを再資源化する取り組みである。ごみは焼却炉で処分するものと思っていたが、微生物により生ごみ等を縮小、

圧縮して固形燃料として再資源化することができ、香川県三豊市ですでに実施されている。処理にかかる面積は必要だがコストは大幅削減できる。  
問い合わせは全国から受けているようなので、仙南クリーンセンターも今後に向け検討すべきである。



微生物の力で固形燃料になった可燃ごみ

支出状況 単位：円

議員名	調査研修費	政務活動費
渡辺 政巳	56,200	43,664

# 議会の要望に町長が回答しました

## 令和5年度決算審査を通じた議会要望への回答



機械でのブロックリー定植実演会（丸森地区）



ふるさと教育で佐野地織体験をする子ども達（大内 佐野地織会館）

**工場団地への企業誘致**  
 要望 税収や雇用の拡大のために、金山工場団地への企業誘致を町挙げて全力で取り組むこと。  
 回答 企業誘致の早期実現を目指し、宮城県など関係機関と連携した誘致体制のもと、産業集積や地域特性を活かし、関連産業へのPRとトップセールスで誘致活動に取り組む。

**農業振興ビジョン推進**  
 要望 農業振興ビジョンの実現に向け、農業の担い手支援と達成率の低い園芸特産物の産出増加に努めること。  
 回答 機械や施設整備の支援と共に、農地の集積と集約化を推進する。また、栽培者の規模拡大を促し、気候変動に対応した品種、技術、作型の導入を進め、産出額拡大に努める。

**教育環境の充実**  
 要望 子どもたちの基礎的な知識、技能を向上させると共に、生きる力や学ぶ意欲が育まれる教育環境を整えること。  
 回答 児童生徒の学びに向かう意欲を育むための教職員の研修を充実させる。また、ICTを活用した学習や国際交流でグローバル化に対応した学習を推進する。

**地球温暖化防止対策**  
 要望 ゼロカーボンシティの啓発並びに脱炭素の取り組みを町内に働きかけ、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するよう全庁で取り組むこと。  
 回答 地球温暖化防止の取り組みの重要性を町内に周知し、町民や事業者、関係団体と連携して、町及び全庁を挙げて取り組む。

**道路愛護会の報償費増**  
 要望 町民の生活道路である町道の維持管理には、道路愛護会の協力が欠かせない。物価高騰も鑑み実態にあった報償の増額を図ること。  
 回答 交通安全や道路保全のために道路愛護会の協力が不可欠であるので、報償費については近年の人員費の推移を参考にして検討していく。



あぶQフェスティバルで賑わう梁川車両基地

**丸森病院の経営**  
 要望 丸森病院は医師と看護師の確保に引き続き取り組み、診療内容の充実を図ると共に町民に頼られる経営に努めること。  
 回答 政策的医師配置を県に要請すると共に、大学病院等の協力で医師を確保し、令和6年度からの仙南地域看護師確保事業で看護師等の安定確保に努める。

**空家の活用と管理**  
 要望 空家等実態調査を踏まえ、空家の活用に向け各課と連携し取り組むこと。  
 回答 また、周辺住民の安全を考慮し、管理者への指導を徹底すること。  
 回答 調査結果は空家等対策計画策定の基礎資料とし、空家等対策協議会と空家等対策委員会を設置して、空家等の適切な管理を求め、利活用に取り組む。

**阿武隈急行の存続**  
 要望 阿武隈急行線は生活を支える重要な公共交通である。利用促進を図ると共に沿線自治体と連携して存続に取り組むこと。  
 回答 町民の生活に必要な公共交通機関であり、鉄道の存続に向けて、沿線自治体や各団体と連携しながら、利用促進に取り組む。

**町税等収入の確保**  
 要望 町税や使用料の新たな未収金の発生防止を図り、滞納者に対して効果的な債権回収対策を講じて収入未済額の縮減に努めること。  
 回答 滞納者への早期納付を促すと共に、税務署等と連携し債権回収対策を進め、収入未済額の縮減に努める。



介助が必要な患者へ丁寧に対応する職員（丸森病院）

# 議会懇談会での 民意はどうなったのか

令和6年5月の懇談会での質問等について確認・調査した結果を報告します。  
今回報告できなかったものについては、次回号で掲載予定です。

## 所管 総務民生常任委員会

### 〔人口減少対策は〕

問 町や議会は子育てや、移住しやすい環境づくりにどう取り組むのか。

答 子育て定住推進課を中心にさまざまな施策を行っている。改めて見直すと同時に、若者が定住、移住ができるよう引き続き町と議会が連携し、一人でも多く残ってもらえるよう努めていく。

### 〔不法投棄対策は〕

問 看板を設置しても、ごみの不法投棄が続いている。対策はあるか。

答 広報を通じて広く啓発を促すとともに、公衆衛生組合や産廃Gメン、警察等と連携しての巡回パトロール、看板や多発地点へのカメラ設置など、監視体制を強化し、未然防止に努める。

### 〔デマンド交通の改善は〕

問 あし丸くんが自宅の前まで来てくれなくなり、利用しにくい。

答 道路状況で自宅前まで

行けない場合は、商工会かあし丸くん予約センターから電話でお知らせしている。要介護者など乗降が難しい方は、介護タクシーの利用を検討してほしい。

### 〔空き校舎の活用は〕

問 空き校舎の活用について現状と今後の見通しは。

答 現在2地区から要望と1地区から具体的な利用計画が出ている。  
令和7年度には、文部科学省みんなの廃校プロジェクトへの登録や、校舎の部分的な貸し出しについても検討を進める。

### 〔防災ステーション運営は〕

問 河川防災ステーションの運営体制は。

答 施設の運営は、令和7年度の早い段階で指定管理者を公募する。  
なお、テナントは、丸森町の株式会社伊具緑化と北海道北見市の有限会社ウィル、一般財団法人丸森町観光物産振興公社等が出店予定である。



コンパクトカーも導入されたあし丸くん

## 所管 議会運営委員会

### 〔地区ごとの議員選出は〕

問 議員を減らして例えば10人になった場合、丸森地区と館矢間地区は2人、その他の地区は1人にできないか。

答 町全体が1つの選挙区のため、定数を各地区ごとに定めることはできない。

### 〔議会中継と録画配信を〕

問 議会中継録画の配信が遅いのではないかと。

答 議会は定例会と臨時議会をライブ配信している。録画配信は一般質問のみだが、速やかに編集を行い、翌日(休日を除く)にはホームページ上で閲覧できるように努めている。

## 所管 産建教育常任委員会

### 〔災害復旧後の水田は〕

問 復旧した水田だが、石が多く田植えが困難だ。どのようにしたらよいか。

答 耕作ができないほど石が混ざっている場合は、町単独事業として対処を検討したいので、町に申し出てほしい。

### 〔伝統芸能の伝承は〕

問 若者が町を離れ、地域に伝わる伝統芸能の存続が心配だ。どうするのか。

答 芸能発表会や地域行事で発表の機会を確保するとともに、学校のふるさと教育の一環として、青葉の田植踊や、民謡等の伝統芸能を授業に取り入れ、伝承を図っていく。

### 〔町営住宅の空室管理は〕

問 古い町営住宅の空室の維持管理も定期的に行ってほしい。

答 建築年の古い住宅は、現況確認を行い、最低限必要な管理を行っている。特に夏場等、他入居者や周辺の環境に影響が及ばないよう、定期的な点検により適切な維持管理に努める。

### 〔予算決算要望の検証を〕

問 議会が出している予算や決算への要望の検証と結果の報告をすべきでないか。

答 要望9項目の一部は、各常任委員会の所管事務調査で検証を行っている。検証結果については、今後ホームページや議会だよりでの公表を検討する。

### 〔定数削減と報酬見直しは〕

問 議員の定数削減と報酬の見直し検討状況はどうか。

答 令和9年12月からの次期任期に合わせ、令和7年中に議員全員による調査特別委員会を設置し、先行事例の調査や町民の意見を聴取して、定数や報酬を見直す予定でいる。

### 〔工場団地造成作業は〕

問 金山工場団地造成作業で、土盛りや撤去を繰り返ししているが、何のためか。

答 造成場所の地盤強化のため、災害復旧の土砂を利用して圧密した。その後、道路整備に利用するために運び出し、再度、地盤改良剤を新たに入れる作業を行った。



地元住民の指導で子ども達に伝承される青葉の田植踊(丸森小学校)

9月25日  
ニッショーホール（東京都）  
議会広報研修会



意見交換を交えながら学んだ研修会

## 議会広報常任委員会

読まれない議会だよりに出す意味なし。という編集方針を掲げ、町村議会広報全国コンクールで何度も最優秀賞を受賞した埼玉県寄居町議会の講演を含む研修会が令和6年9月に東京で開催された。学び得た内容は①町民参加を心掛け、議会と町民の視点を掲載する。②審議結果だけでなく、審議経過を伝え、町民の関心が高い議案等に優先順位をつけて掲載する。③町民が分かりやすい言葉、見出し、写真、QRコード等を活用して編集する。更に多くの方に読んでもらえる議会だよりが発行できるよう参考にすべき内容も多かった。

中津川かおり委員

## 議員の会議出席状況

令和6年10月～12月31日 出席：○ 欠席：×(病気等) △遅刻・早退(病気等) 員外：-

月日	公務名	議員名													
		1 八巻 眞由	2 中津川かおり	3 大槻 孝雄	4 金森 裕之	5 山本 明徳	6 鈴木美智子	7 大槻 正儀	8 渡辺 政巳	9 菊池 修一	10 石井 央	11 海川 正則	12 板橋 勇	13 船山 俊一	14 佐藤 吉市
10	4 仙南亙理議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	10 第5回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	11 議会広報常任委員会	△	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	18 議会広報常任委員会	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	28 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	産建教育常任委員会視察調査(10/31~11/1) P20掲載	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	5 広報研究会(宮城県自治会館)	△	○	×	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	総務民生常任委員会視察調査(11/11~12) P20掲載	×	-	-	○	-	○	-	-	○	-	×	○	-	-
	町村議会議長全国大会・国会議員との意見交換会(11/13~14)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	22 知事との意見交換会・宮城県町村議会議長会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
12	25 第6回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	25 丸森町議会七十年史編さん特別委員会	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○
	4 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	4 議会運営委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	○	×	-	○	○	○
	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 第7回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12 除染汚染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
13 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23 仙南亙理議長会議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	

# 委員会活動レポート

議会には、3つの常任委員会（総務民生・産建教育・議会広報）があります。今回は、総務民生常任委員会・産建教育常任委員会・議会広報常任委員会が行った、視察調査・研修について報告します。

11月11日から12日

栃木県茂木町  
水の郷さわら（千葉県香取市）



水害の教訓を伝える資料展示室

## 総務民生常任委員会

現在、国が工事を進めている町河川防災ステーションと類似している、千葉県香取市の利根川水系に整備された川の駅「水の郷さわら」を視察した。この施設は、地域との水辺交流拠点として整備されており、河川防災ステーションや、河川周辺の観光が一ヶ所楽しめる施設と

なっている。防災教育や利根川の水害などを学べる場となっており、拠点施設の運営や、防災機能の整備状況を確認することができた。本町に整備される防ステに大いに期待を寄せ、有意義な視察となった。

金森裕之委員長

10月31日から11月1日

長野県小海町  
学校法人茂来学園大日向小中学校（長野県佐久穂町）



子どもの発達する権利に基づくイェナプラン教育の説明を聞く

## 産建教育常任委員会

長野県佐久穂町にある、イェナプラン認定校の大日向小中学校を視察した。子ども達は地元2割、町外8割で首都圏からも移住し子どもを通わせている。子ども達は自分で学習計画を作り勉強していた。自由に学べる環境が良いのだろう。視察者の教室への出入りがあったも、子ども

達はまだあまり気にしていないようだった。休み時間には、ダンスを楽しんだり、気軽に楽器演奏したりと自由である。驚いたのはおやつ時間があっても、家から持参したおやつをいそいそと食べていた。教育にも新発想が必要である。

渡辺政巳委員長



熱中小学校丸森復興分校

教頭 安部 信次 さん

館矢間地区

## 丸森町は心地良く

### ちようど良い

学びたい大人のための学校、熱中小学校につながる、自身のライフスタイルについてお話を伺いました。

Q 熱中小学校に入学したきっかけと、入学後の取り組みは。

A 友人に誘われて入学しました。養蜂部設立の提案があり、自宅の農場に養蜂箱を設置して、副部长として活動し、現在は教頭に就任して授業の講師も務めています。

Q 移住先に丸森町を選んだ理由は。

A 東京農業大学を卒業後は就農して鶏を飼育したいと考え、気候の適した地を探していました。妻の故郷である丸森町が適しており、横浜から移住しました。

私たちが快く受け入れてもらい、自分のペースで無理なく暮らせる丸森町は心地良くちようど良いです。

Q 農業を通して、どんな活動をしていますか。

A ザンビア丸森プロジェクトの一員として、ザンビア共和国に農業指導に行きました。これは農業からつながったことで、この経験について熱中小学校でつなぐ人になる、つなげる人になるとして授業を行いました。

町こども園園児と小学生にも体験を伝え異文化交流をしています。子ども達から大人に伝わり、町内に伝えることができたら良いと思います。

Q まちづくりについての考えは。

A 役場は役場の立場でやれることをやってもらえば、何も言うことはありません。私は農業を主に、時間が許す限り熱中小学校や子育て支援等自分でできること、みんなと一緒にできることを継続していきます。

(鈴木 美智子 委員長)

## ハラスメント問題に対する議会の取り組み状況をお知らせします

R 6 12月	13日	全員協議会：今後の対応についての協議
	24日	議長と副議長が他自治体のハラスメント対応事例を調査
	27日	議長と副議長が他自治体のハラスメント対応事例を調査
R 7 1月	9日	全員協議会：他自治体のハラスメント対応事例調査の結果報告を参考に具体的な対応策を協議
	24日	全員協議会：町執行部からハラスメントの内容等について聞き取り

今後の取り組み状況についても、議会だよりでお知らせします。

### 表紙のひとば

この日は、筆甫地区子ども会育成会による餅つきが行われました。毎年、旧小学校の学習田を活用して、地区住民と子ども達が一緒にになり、田植えと稲刈りを手作業で行い、収穫したもち米で餅つきをする恒例の行事です。

当日は冬空の下、子どもから大人まで43名の参加者があり、ついた餅を雑煮やずんだ餅にしました。さっそくお目当ての餅を二口パクリ。自分たちが作ったお餅はおいしいと好評でした。

これからも貴重な体験として続いて欲しいと願うばかりです。

(金森 裕之 委員)

### 議会広報常任委員会

委員長	鈴木美智子
副委員長	山本 明徳
委員	八巻 眞由
	中津川かおり
	大槻 孝雄
	金森 裕之